



第40期 事業報告書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで





平成16年3月1日 東京証券取引所にて

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは創業50周年を迎え、新たな一歩を踏み出すことができました。この大切な節目にプライダル業界初の、東京証券取引所市場第一部・大阪証券取引所市場第一部にご指定いただきました。これもひとえにお客さまをはじめ関係各位のご愛顧、ご厚情によるものと重ねて厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「世界最高のプライダル企業を目指します」を合言葉に、すべてのお客さまに最高の満足と感動を味わっていただけるよう「トータル・プライダル・ソリューション」という新しい業態の確立に取り組み、サービスネットワークの拡充や事業領域の拡大に努めてまいりました。

50年の節目を新たな出発点とし、プライダル業界のリーディングカンパニーとして、「日本のワタベウェディング」から「世界のワタベウェディング」へとグローバルな視点をもって事業を展開し、飛躍してまいりたいと考えております。

お客さま、株主さまをはじめ広く関係者の皆さまの信頼にお応えするとともに、心豊かな社会の実現に貢献できるよう一段の努力を重ねてまいりますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

代表取締役社長

渡部 隆夫



ワタベマインド 経営基本理念

わたくしたちの目的は、
真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、
すてきな生活文化を創造し、
心豊かな社会の実現に
貢献することにある。

当社グループは、多角的企業評価システム「PRISM」(日本経済新聞社・日経リサーチの共同開発)の優良企業ランキングで、「若さ」部門78位の評価を受けております。創業50周年を経て今後益々の飛躍を図るにあたり、この「若さ」と伝統を活かした当社のグループ戦略、とくに中国における事業展開が大きなファクターとなります。そこで、中国進出における日本企業の戦略コンサルティングで活躍されている株式会社UFJ総合研究所の香川玲子さんをお迎えし、当社取締役・中国事業部長の島崎昌彦と対談していただきました。

「レンタルから販売へ」消費者意識の変化を 見定めた上海工場の軌跡

香川 中国事業のお話をお伺いするにあたり、まず中国進出のきっかけをお聞かせいただけますか。

島崎 中国に当社が工場を設立したのは1993年です。当時はレンタルドレスが主流でしたが、サイズがフィットしないなど新婦様の不満は少なからずありました。その声に応えるために新しいドレスを提供したのが、自社生産を始めたきっかけといえます。在庫を持たない生産方式で、お客様にはスピーディーに提供することができるのが上海工場の特徴の一つといえます。

香川 1993年というと、中国進出した多くのメーカー企業が現地生産に失敗していた頃ですが、不安はありませんでしたか？

島崎 当社は当時、貸衣裳業中心に展開しており、メーカーのような大規模生産のノウハウはありませんでした。ノウハウがなかったことが逆に功を奏し、サービス業ならではのお客様のニーズに沿った視点と中国の実情に即した生産現場づくりを独自に確立することができました。

香川 既成の概念がなかったからこそ新しいスタイルが成功したわけですね。

秘訣は「お客様」を大切にする 家族のようなチーム編成

香川 御社は人を大切にする企業と聞いています。ドレスは班体制で製造しているとのことですが、特に女性が多い環境の中でどのようなモチベーションを与えて生産性を高めているのですか？

また、中国ではチーム性が浸透しないお国柄とよく言われます。同じ班にできる人、できない人がいる中で、精神面での教育にご苦労されたのではないですか？

島崎 そうですね。今でこそセル生産方式として様々な企業で活用されていますが、小単位で業務を行うということは当時ごく稀なことでした。生産高を労働時間に換算し各班が競い合うことで、レベルアップに繋がるだけでなく、自分達の働きや評価が目に見えるのが特徴です。



平成16年上海現地法人創立11周年式典にて



香川 玲子
 (株式会社UFJ総合研究所国際本部企画戦略部)
 早稲田大学卒業後、中国上海市復旦大学留学、米
 国ワシントン州シアトル市NSCC国際貿易学院修
 了。平成12年株式会社UFJ総合研究所入所、グロ
 ーバルマーケティング、国際経営、知的財産管理の
 分野で現在活躍中。

上海工場は創業時16人でしたが、「私達はみな家族」なので協力しようという礎と、日本で待っている「お客様のために仕事をする」ということをモチベーションの基本としてきました。家族である以上お互いに協力しなければならない、自分の家族が他の家族より優れた製品を作りたいという思いが自然と根付いていました。

香川 当時サービス業が根付いていなかった中国で、サービスという概念そのものやサービス技術の教育が難しかったのではありませんか？

島崎 はい。そのために研修制度を活用しました。日本に研修に行き、当社の店舗で自分達が制作したドレスを前に接客をしている姿を見せるというのも一つ。また、社員旅行の際には中国の最高級ホテルに宿泊し、日本のお客様が受けているサービスを体験する。これを毎年繰り返すことにより目的意識が持ちやすくなりました。

生産市場としての上海から 販売市場としての上海へ

香川 ところで、御社全体の中で中国事業はどういう位置付けにありますか？

また、今後の展開についてですが、2004年度から中国事業の拡大を図る新たな展開を予定しているそうですね。これは挙式サービスについてでしょうか？

島崎 そうですね。現在、日本マーケットのための生産拠点であるドレス工場、貿易会社、アルバム工場、そして中国マーケットのための上海市民向けの写真館という4つの事業を展開しています。中国には宗教にのっとった結婚式が存在しないため、主流であった写真館をまずスタートさせました。現在、ノウハウ蓄積と生産体制の確立という十分な土台を築いており、今後は、中国マーケットで発展していくための核となる事業として挙式運営事業を成長させたいと思います。

香川 上海の経済成長とともに人々の文化や考え方も変化していますし、写真館でのノウハウが蓄積された今だからこそ、機が熟したということですね。

島崎 はい。世界最高と言われる日本の婚礼文化と、中国の文化を融合させた総合的なサービスの提供を考えています。オリンピックや万博など今後大規模な発展が見込まれる中、新しい婚礼文化を根付かせたいですね。

香川 中国の婚礼市場では、国営企業その他、台湾系、香港系企業がありますね。また今後の市場性を見込んで日本の同業他社の進出も考えられます。他社との差別化のポイントは何ですか？

島崎 サービスの提供 = モノが伴うということです。現在製作しているドレスやアルバムも中国市場内で活用可能です。すべてが内製化されているのが当社の強みです。商材がないとサービス品質を保つことはできません。基礎から築き上げ地盤を固めた上での展開ですので、必ずや他社には真似できない仕組みが出来上がるという確信につながっています。

語学教育を通して サービスの根幹を学ぶ

香川 モノが揃ったということは、次はサービス、人ですね。人材は人財とも言われますが。

島崎 はい。教育の根幹をどこに置くかは悩みました。行きついたのが語学教育による支援。日本語だけでなく英語も教育します。全社員が、語学教育を通してその背景にある文化を理解し、日本や欧米の婚礼サービスの根幹にある「なぜこうしなけ

ればならないか」ということを学んでいきます。文化を理解した上での本当の意味でのサービスを目指すことで他社にはないサービス品質を提供できると思います。要は、人づくりをすることで社員の質を高め、中国におけるトータル・ブライダル・ソリューションの確立を目指します。

香川 今現地で総合ブライダルサービスをしているところはどれくらいありますか？ また、御社はホテルなどとの提携をお考えですか？

島崎 すでに取り組んでいる企業はありますが、どれも本格的ではありません。当社は今年の秋を目処に、まずは上海富裕層をターゲットに挙式運営事業をスタートさせていく予定です。

香川 モノづくりと人づくり。まずは人材。中国における挙式運営事業の展開により「日本のワタベから世界のワタベへ」と発展していくワタベウェディング。今後の御社の成長と中国事業の成長を心より期待しております。

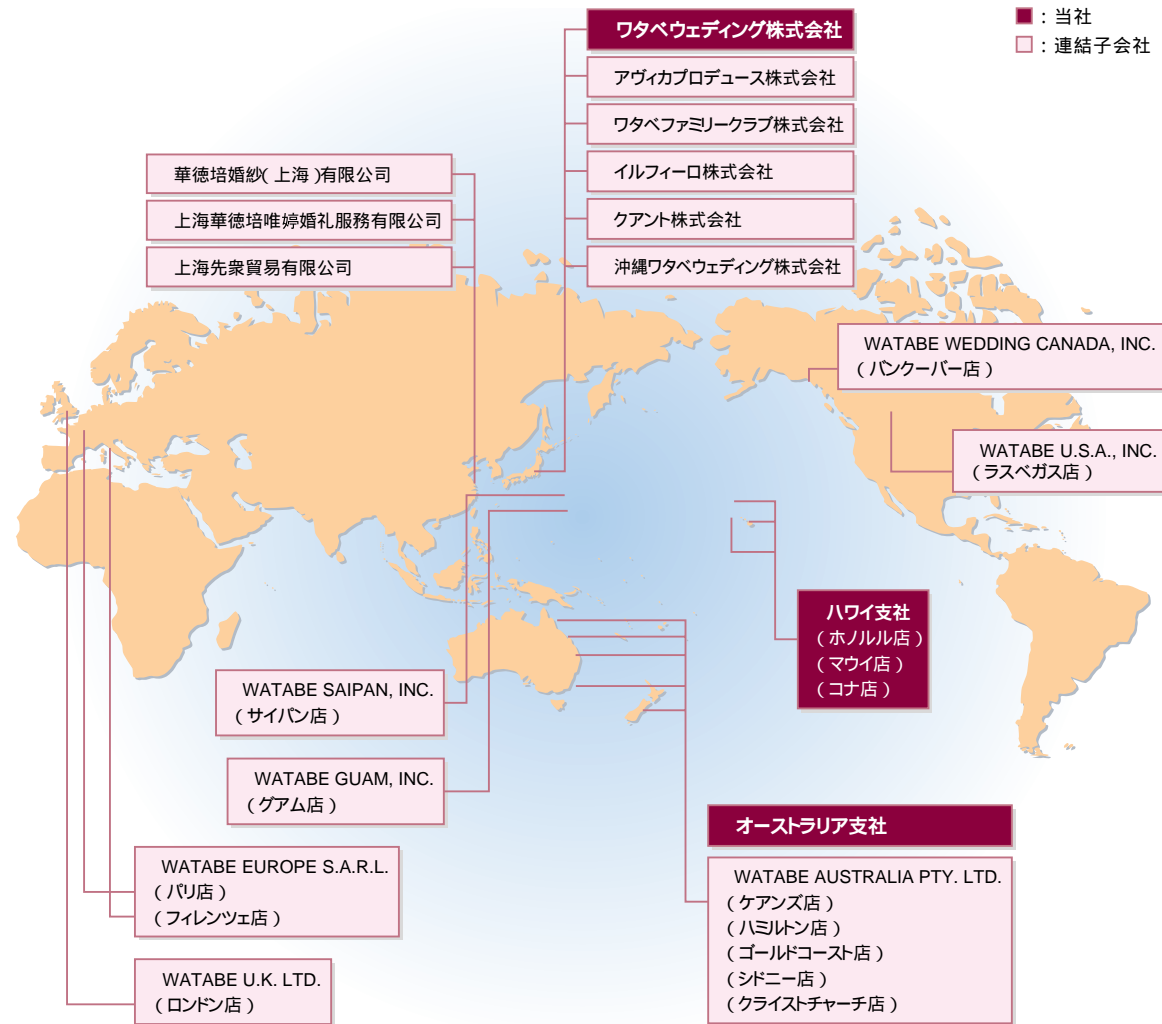
本日はどうもありがとうございました。

島崎 ありがとうございました。



島崎 昌彦
 (当社取締役・中国事業部長)
 昭和56年当社入社。平成5年華徳培婚紗(上海)有限公司総経理就任、平成9年上海華徳培唯婷婚纱摄影有限公司総経理就任、平成10年上海先衆貿易有限公司総経理就任。平成14年当社取締役就任。現在、中国事業全般を一手に担う。

当社グループは、当社(海外2支社)及び連結子会社17社(国内6社、海外11社)で構成され、国内及び海外挙式サービスを中心にブライダルに関する情報・サービス・商品をトータルにご提供することを主たる事業としております。



なお、国内子会社の株式会社アルケは休業中であり、イタリア海外子会社は清算手続中のため上図には記載していません。

海外挙式サービス



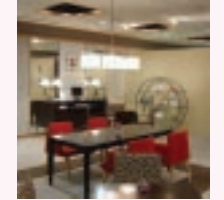
国内店舗を窓口として、海外16店舗のネットワークで、12カ所の自社運営挙式関連施設を中心に海外挙式をサービス。日本人の海外挙式者ばかりでなく、現地ローカルも対象としてサービスを拡大中。

国内挙式サービス

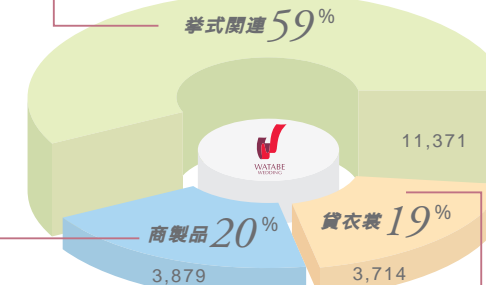


ハウスウェディング、レストランウェディング、本格的教会挙式、純和風挙式等多様化するお客様のニーズに対応した、国内9カ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。

手数料



国内店舗にて、主に海外挙式者や列席者に旅行を斡旋、手配。また、引出物等ブライダル関連商品の斡旋や、他社施設への顧客紹介(送客)を実施。



連結売上高(単位:百万円)を表示しています。

商製品



上海の「ISO9001認証取得工場」生産の高品質・高付加価値ウェディングドレスや、その周辺商品を国内店頭販売、OEM供給。自分専用のドレスを低価格で提供。

衣裳レンタル



和装を中心に婚礼衣裳や列席者用衣裳を低価格でレンタル。海外挙式者用に国内店舗でウェディングドレスを試着、予約できるサービスや、留袖をカタログ予約できるサービスを提供。

写真サービス



婚礼写真の別撮り、前撮りや成人式、卒業式、七五三などの記念として、貸衣裳、美容・着付と写真撮影をセットにしたサービスを提供。

ブライダル業界で初の東証一部・大証一部への上場

当社は、平成16年3月1日、ブライダル業界では全国で初めて、東京証券取引所市場第一部・大阪証券取引所市場第一部に上場いたしました。

昭和28年京都西陣の地に渡部泰次・フジによる婚礼貸衣裳店の創業。以来昭和39年に法人化し、平成9年12月には業界初の大証二部及び京証に上場、平成12年11月には東証二部に上場いたしました。当社は、ブライダル業界のリーディングカンパニーとして「世界最高のブライダル企業を目指します」を合言葉に、「美しいかどでの日」を迎えられるすべてのお客様にお喜びいただけるよう、サービスネットワークの拡充や事業領域の拡大に努めてまいりました。これを機に、今後も更なる経営基盤の充実を図り、情報開示をはじめとするCSR(企業の社会的責任)に積極的に取り組むことでステークホルダーの皆さまとの関係をこれまで以上に大切に、産業界の発展と、心豊かな社会の実現に貢献してまいります。



ISO9001の認証取得

平成16年3月8日、品質マネジメントシステムの国際規格である「ISO9001」の認証を取得することができました。中国・上海のウェディングドレス製造工場のISO9001の取得に続き、総合ウェディングサービスを提供する直営店舗を中心に、当社が提供する商品・サービスの双方で、国際的に定められた方法で品質水準の統一化が実現できました。

経済のグローバル化が進む中、まごころのサービスをお客様へ提供することは、当社の役割と責任を果たす上で必要不可欠なことです。今後も継続的に改善を重ね、更なるサービス品質の向上に邁進してまいります。



FS79714/ISO9001/QJ00741

海外挙式30万組目のカップル誕生!



海外初進出のホノルル出店から30周年目を迎えた2003年、海外挙式30万組目のカップルが誕生し、11月26日にハワイの「コオリナ・チャペル・プレイス・オブ・ジョイ」にて挙式と祝福セレモニーが行われました。

挙式後、ご夫妻とご参列者がハワイ州リンダ・リングル知事に招待され、公邸を訪問。知事からご夫妻へ祝福の言葉とともに、記念の証明書が手渡されました。また、「11月26日を“ワタベウェディングの日”とする」と認定

“癒しの楽園”アヴィカ・ウェディング&リゾート

広大な敷地や専属のガーデンデザイナーが心を込めて手入れをしているフラワーガーデンが自慢の「アヴィカ・ウェディング&リゾート」(オーストラリア・ゴールドコースト)では、2004年5月これまでウェディングで培ってきたホスピタリティーサービスと美容のノウハウを集結したエステ・セラピートリートメント専用の新たな屋外スパ施設「アヴィカ・スパ(4棟)」が、デビューします。古来より伝わるオーストラリアならではの自然と伝統をテーマに約30種類に及ぶ特色あるトリートメントメニューをご用意。

「アヴィカ・スパ」は、挙式カップルだけでなくハネムーンやカップル旅行者、また女性同士のグループをメインターゲットとし、それぞれのスタイルに合わせて楽しめる大人の隠れ家的な魅力あふれる“癒しの楽園”リゾートです。美の追求はもちろん、日ごろの疲れを癒す最高のおもてなしをご提供いたします。



され、当社のハワイ観光産業への貢献と今後への大きな期待が寄せられました。

帰国時には、関西国際空港にてご夫妻を祝福するイベントを実施。旅行会社などの後援を得て、関西国際空港(株)と当社が共同主催しました。ご夫妻は、国際線到着出口からフラワーアーチをくぐり、赤絨毯が敷かれたパーシブロードを関空キャラクターと登場。多くの人々が見守る中、報道陣に笑顔で応えました。



カラードレスキャンペーン 「Avica Special Days」

ウェディングドレス「アヴィカ」の販売促進と国内挙式の新規顧客獲得を図るため、カラードレスのレンタル優待特典を中心とするキャンペーン「Avica Special Days」を実施しました。

レンタルドレスを店舗間で効率的に活用できる仕組みを作り、お客さまにお選び頂けるドレスの幅を広げたことで多くのお客さまにご来店いただくことができました。



国内挙式事業の拡大に向けて、新拠点続々オープン!

当社グループは、お客様のニーズの多様化に対応するため、主力の海外挙式事業に加えて、国内挙式事業戦略の強化・拡大を計画しております。リゾート・観光に優れた地域では旅行を伴う「リゾートウェディング」を展開し、大都市近郊では邸宅やレストランなどを利用した「都市型ウェディング」を中心に展開していきます。

当期は静岡県伊東市(伊豆高原)に教会を、神奈川県葉山町、大阪市中央区に挙式施設をオープンいたしました。

第41期は、現在リゾートウェディングの候補地として最も注目を集める沖縄において、「万座ビーチホテル&リゾート」での婚礼事業全般における業務提携に伴い、平成16年4月、同ホテル内に「アクアルーチェ・チャペル」をオープンいたしました。また、同年6月には北海道函館市の異国情緒あふれる金森赤レンガ倉庫群の一角に挙式施設「アフィーテ函館」をオープンいたします。

今後も、国内各地に、その土地ならではの素敵さを満喫できる「リゾートウェディング」施設や「都市型ウェディング」施設の展開を図ってまいります。



沖縄・万座ビーチホテル&リゾート「アクアルーチェ・チャペル」



「アクアルーチェ・チャペル」ガゼボ



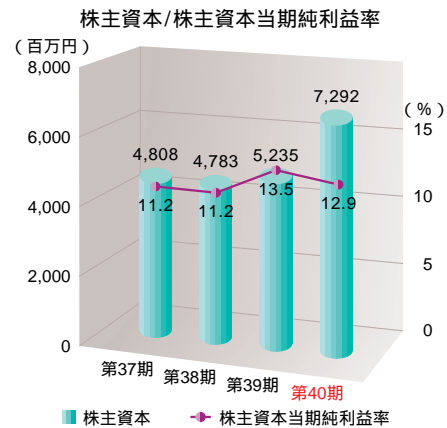
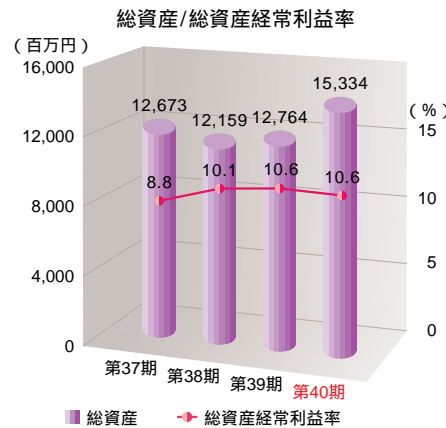
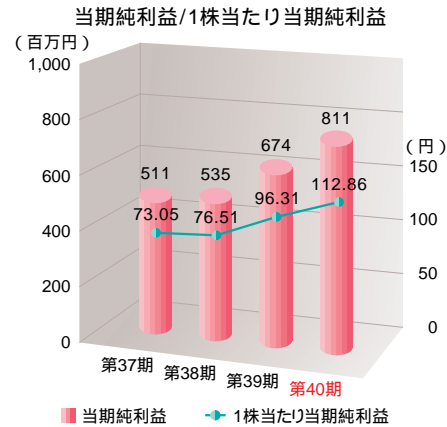
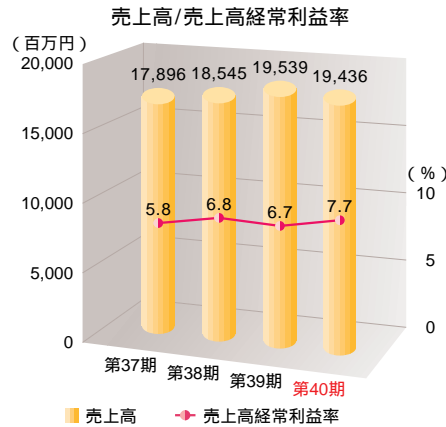
アフィーテ函館「ステラマリス・チャペル」



目黒雅叙園を子会社化 挙式マーケットのシェアの拡大へ

平成16年5月1日、国内における総合的なブライダルサービス提供のための一大ソリューションプレイスとして「目黒雅叙園」を当社グループの一員に迎えました。結婚式場としての歴史を重ね、知名度において抜群であり、突出したハードの魅力を持っている「目黒雅叙園」は、当社グループにとって大きな戦力となります。国内・海外挙式事業の相乗効果によるお客様満足度の向上を図るとともに、挙式マーケット全体での取扱いシェアを高めていきます。

営業報告、部門別の概況



当期のわが国経済は、長期にわたる景気低迷からようやく脱し、自立回復に向かい始めて明るさが出てきました。

当ブライダル業界においては、婚礼適齢人口もピークを過ぎた感があり、婚姻組数は73万7千組(前年75万5千組)と前年比約2万組の減少となりました。海外挙式マーケットは、イラク戦争の長期化と重症急性呼吸器症候群(SARS)の流行により海外渡航者に心理的な影響を与え、想像以上に落ち込みました。国内マーケットにおいては、施設や時間を占有できる「貸切型」の挙式スタイルが人気となりました。また、沖縄や北海道を代表とする「リゾートウェディング」という挙式スタイルを定着させる傾向を強めました。

このような経営環境のなか、当社グループはお客様満足度の向上を最大の目的として、トータル・ブライダルソリューションの確立に向けて様々な戦略を展開してまいりました。

商品・サービス提供の質的向上戦略としては、全てのお客様に対して標準化されたものを提供するため、ISO9001の認証を取得いたしました。

国内挙式増強戦略としては、平成15年4月、伊東市に「伊豆高原教会」、同年11月、神奈川県葉山町に「アフターテ葉山」、同年12月、大阪市中央区に「ワナファンガーデン」を開設し、挙式スタイルの新提案としてリゾートウェディング並びに都市型ウェディングの提供を開始しました。また店舗戦略としては、首都圏地区に小型・中型店舗を積極的に開設した他、平成16年2月、那覇市にリゾートウェディングの受入及び地元へのサービス提供を行う「那覇店」、同年3月、地方中核都市への出店強化の一環として岡山市に「岡山店」を開設しました。

コスト低減戦略としては、平成15年4月、中国・上海市に写真アルバム製造工場を開設し、主として海外挙式のお客様向け婚礼アルバムの自社製造を開始しました。

海外においては、12カ所の自社運営挙式施設保有の強みを活かし、高品質・高付加価値サービスの販売に注力し、一組当たり単価の向上と自社教会挙式比率の向上に努めることにより、売上総利益率の改善を図りました。

以上の結果、当期の業績は、連結売上高19,436百万円(前期比0.5%減)、連結経常利益1,493百万円(同13.4%増)、連結当期純利益811百万円(同20.3%増)となりました。

なお、所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

国内挙式及びドレス販売の強化、コスト低減による売上利益率の改善により、売上高は16,128百万円(前期比9.6%増)、営業利益は867百万円(同40.1%増)となりました。

ハワイ

SARS等の影響により挙式取扱組数が減少したため、売上高は4,256百万円(前期比18.9%減)、営業利益は141百万円(同42.9%減)となりました。

中国

日本国内向けのウェディングドレス及び海外挙式者向けアルバムの出荷数増加により、売上高1,282百万円(前期比13.4%増)、営業利益122百万円(同93.8%増)となりました。

オセアニア

高品質・高付加価値商品の販売により、一組当たり単価が上昇したことで売上高は1,478百万円(前期比9.0%増)となり、営業利益は172百万円(同13.5%増)となりました。

マイクロネシア

SARS等の影響により挙式取扱組数が減少したことで、売上高2,399百万円(前期比7.7%減)、営業利益461百万円(同17.8%増)となりました。

その他の地域

ヨーロッパでの挙式組数は堅調でありましたが、北米地区での挙式取扱組数減少により、売上高787百万円(前期比18.7%減)、営業損失21百万円(前期損失9百万円)となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、先行きに明るい材料が見え始めている一方、イラク戦争の長期化、世界各地でのテロ事件の散発等により景気の本格的な回復は予断を許さない状況であると思われます。

当ブライダル業界におきましては、婚姻届出組数は漸減傾向が続き年間70万組程度になると推測されますが、海外挙式マーケットは本格的な回復期となることが予想されます。

財務諸表の概要(連結)

連結貸借対照表(単位:千円)

科目	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	5,110,597	4,454,740
現金及び預金	3,307,554	2,675,425
売掛金	728,061	763,553
たな卸資産	487,564	494,525
前払費用	289,280	245,053
未収入金	163,703	67,645
繰延税金資産	118,459	151,961
その他	30,774	70,072
貸倒引当金	14,801	13,495
固定資産	10,224,253	8,309,778
有形固定資産	6,551,987	5,233,160
貸衣裳	130,870	92,735
1 建物及び構築物	3,432,397	2,849,208
1 器具備品	833,959	852,752
1 土地	1,763,932	1,231,307
その他	390,827	207,155
無形固定資産	157,721	158,247
投資その他の資産	3,514,544	2,918,370
2 投資有価証券	929,491	167,477
長期前払費用	324,343	446,394
差入保証金	1,739,804	1,572,979
繰延税金資産	33,464	253,588
再評価に係る繰延税金資産	364,431	364,431
その他	379,655	381,356
貸倒引当金	256,646	267,857
資産合計	15,334,851	12,764,518

point 1

営業店舗や拳式施設の新設・改装、拳式施設用地の取得等で建物、備品、土地は当期1,097百万円増加しました。

point 2

当期に上場したその他有価証券の時価評価等で、投資有価証券は762百万円、その他有価証券評価差額金は456百万円増加しました。

point 3

公募による100万株の新株式発行を行い、資本金が509百万円、資本剰余金が509百万円増加しました。

科目	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	4,936,998	5,437,904
買掛金	931,594	1,078,022
短期借入金	196,402	284,807
1年以内返済予定長期借入金	799,600	1,231,458
未払金	531,705	401,606
前受金	1,548,904	1,667,479
賞与引当金	174,702	163,390
その他	754,088	611,140
固定負債	3,105,449	2,091,023
長期借入金	2,496,400	1,535,215
退職給付引当金	45,259	27,235
役員退職慰労引当金	308,096	292,136
その他	255,694	236,436
負債合計	8,042,447	7,528,928
(資本の部)		
3 資本金	2,263,500	1,754,500
3 資本剰余金	2,127,000	1,618,000
利益剰余金	3,059,757	2,388,755
土地再評価差額金	524,424	524,424
2 その他有価証券評価差額金	457,010	932
為替換算調整勘定	90,440	2,173
資本合計	7,292,403	5,235,590
負債及び資本合計	15,334,851	12,764,518

連結損益計算書(単位:千円)

科目	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
4 売上高	19,436,413	19,539,583
5 売上原価	7,661,152	8,580,560
売上総利益	11,775,261	10,959,022
販売費及び一般管理費	9,994,856	9,490,986
営業利益	1,780,404	1,468,035
営業外収益	81,965	73,670
6 営業外費用	368,527	224,348
経常利益	1,493,843	1,317,358
特別利益	49,616	59,438
特別損失	54,696	275,962
税金等調整前当期純利益	1,488,763	1,100,834
法人税、住民税及び事業税	702,077	552,546
法人税等調整額	24,315	125,882
当期純利益	811,001	674,170

point 4

イラク戦争の長期化とSARSの流行により海外拳式取扱組数が減少し、売上高は横ばいでした。しかし、拳式施設の開設を進め国内拳式が増加しました。

point 5

海外からの仕入の円高による影響や、アルバムの内製化等により原価が低減しました。

point 6

円高による為替差損296百万円を計上しております。

連結剰余金計算書(単位:千円)

科目	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	1,618,000	1,618,000
資本剰余金増加高	509,000	-
増資による新株の発行	509,000	-
資本剰余金期末残高	2,127,000	1,618,000
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	2,388,755	1,867,585
利益剰余金増加高	811,001	674,170
当期純利益	811,001	674,170
利益剰余金減少高	140,000	153,000
配当金	140,000	140,000
役員賞与	-	13,000
利益剰余金期末残高	3,059,757	2,388,755

連結キャッシュ・フロー計算書(単位:千円)

科目	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,460,103	2,386,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,130,685	1,165,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,349,056	340,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	46,345	13,443
現金及び現金同等物の増加額	632,128	894,335
現金及び現金同等物の期首残高	2,675,425	1,781,090
現金及び現金同等物の期末残高	3,307,554	2,675,425

財務諸表の概要（単体）

貸借対照表(単位:千円)

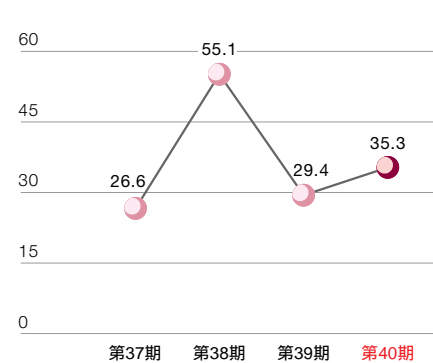
科目	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	3,991,962	3,720,648
現金及び預金	2,507,076	1,743,575
売掛金	627,024	602,694
たな卸資産	136,477	168,978
その他	734,908	1,216,748
貸倒引当金	13,524	11,347
固定資産	10,315,967	8,173,020
有形固定資産	5,736,623	4,413,772
貸衣裳	103,729	69,055
建物及び構築物	3,082,190	2,524,810
器具備品	555,898	511,689
土地	1,730,367	1,197,741
その他	264,437	110,475
無形固定資産	121,529	117,066
投資その他の資産	4,457,814	3,642,181
投資有価証券	1,579,194	792,759
差入保証金	1,444,214	1,276,177
その他	2,299,820	2,130,139
貸倒引当金	865,415	556,894
資産合計	14,307,930	11,893,669

損益計算書(単位:千円)

科目	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売上高	15,304,110	15,695,505
売上原価	7,524,320	8,311,289
売上総利益	7,779,789	7,384,216
販売費及び一般管理費	6,602,775	6,502,165
営業利益	1,177,013	882,050
営業外収益	291,128	289,364
営業外費用	328,315	184,006
経常利益	1,139,826	987,409
特別利益	49,019	59,320
特別損失	388,298	463,910
税引前当期純利益	800,548	582,819
法人税、住民税及び事業税	440,318	339,240
法人税等調整額	177,621	233,021
当期純利益	537,850	476,600
前期繰越利益	407,678	220,266
利益準備金取崩高	-	196,074
中間配当額	70,000	70,000
当期末処分利益	875,529	822,941

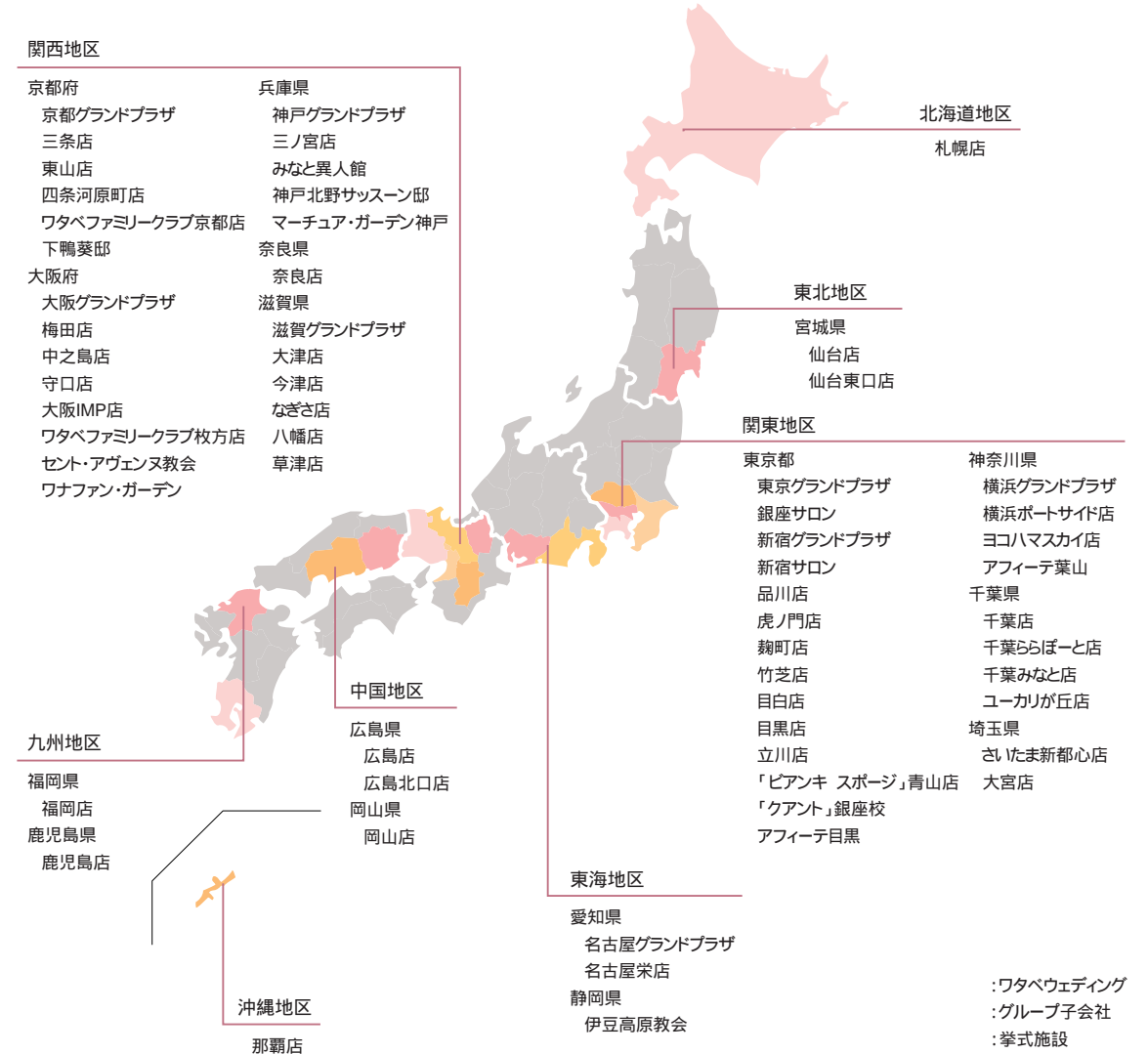
科目	当期 (平成16年3月31日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	4,142,135	4,658,808
買掛金	955,484	1,065,708
1年以内返済予定長期借入金	799,600	1,148,040
前受金	1,421,054	1,613,132
その他	965,995	831,927
固定負債	2,982,896	1,923,940
長期借入金	2,496,400	1,478,000
退職給付引当金	43,151	26,256
その他	443,345	419,683
負債合計	7,125,031	6,582,748
(資本の部)		
資本金	2,263,500	1,754,500
資本剰余金	2,127,000	1,618,000
利益剰余金	2,859,928	2,462,078
土地再評価差額金	524,424	524,424
その他有価証券評価差額金	456,893	766
資本合計	7,182,898	5,310,921
負債及び資本合計	14,307,930	11,893,669

配当性向(%)



国内ネットワーク

(平成16年3月31日現在)



株式情報

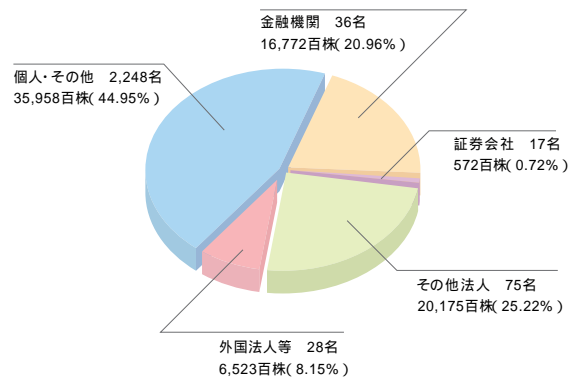
(平成16年3月31日現在)

株主の状況

1. 会社が発行する株式の総数	22,000,000株
2. 発行済株式の総数	8,000,000株
3. 株主数	2,404名
4. 大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社寿泉	1,635,400	20.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	615,700	7.69
渡部隆夫	452,000	5.65
ワタベウェディング従業員持株会	358,700	4.48
渡部泰男	283,000	3.53
渡部義夫	273,300	3.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	231,500	2.89
有限会社シュエ	200,000	2.50
バンクオブニューヨーク・ロバートミッドルケセンブルグ131800	154,500	1.93
ステートストリートバンクアムトラストカンパニー505011	114,200	1.42

所有者別分布状況



会社概要

(平成16年3月31日現在)

ワタベウェディング株式会社

本店所在地
京都市下京区烏丸通仏光寺上る
二帖半敷町671番地

設立
昭和39年10月3日

資本金
22億6,350万円

従業員数
(単体) 321名
(連結) 1,048名
契約社員は含まれておりません

ハワイ支社
オーストラリア支社

国内関係会社
アヴィカプロデュース株式会社
ワタベファミリークラブ株式会社
イルフィーロ株式会社
クアント株式会社
沖縄ワタベウェディング株式会社

海外関係会社
WATABE U.S.A., INC.
WATABE AUSTRALIA PTY. LTD.
WATABE SAIPAN, INC.
WATABE GUAM, INC.
WATABE EUROPE S.A.R.L.
WATABE U.K. LTD.
WATABE WEDDING CANADA, INC.
華徳培婚紗(上海)有限公司
上海華徳培唯婷婚禮服務有限公司
上海先衆貿易有限公司

株主優待のお知らせ

当社では、株主さまへの感謝の一環といたしまして、当社の商品・サービスをご利用いただけるご優待制度を設けております。このたび、優待制度の一部見直しを行いました。株主の皆さまに、これからも応援していただけるよう、優待制度の充実を図ってまいります。

株主ご優待
対象株主さま 平成16年3月31日現在の株主名簿に記載された株主さま
ご優待内容 ・海外・国内直営挙式会場割引ご優待 ・当社オリジナルドレス(アヴィカ)とタキシード(オモ)ペアでご購入割引ご優待 ・海外・国内パッケージ旅行の割引ご優待 ・直営リゾート施設の無料宿泊ご優待 ・貸衣裳ご利用割引ご優待 ・当社オリジナル「留袖カタログ」一冊無料進呈 ・当社フォトプラン「花嫁物語」割引ご優待
ご利用期間 平成16年7月1日から平成17年6月30日まで (詳しいご優待内容につきましては同封しておりますご優待券をご確認ください。)

《事業報告書の内容に関するお問い合わせ先》

ワタベウェディング株式会社 株式課
TEL 075-352-4111(代表)
FAX 075-352-4139

(表紙メッセージ)

今年創業50周年を迎えた当社は、50年という歳月の中で、たくさんの幸せな笑顔を見つめてきました。心からの笑顔で迎えたその日が、輝かしい思い出となって永遠に胸に残るウェディング。多くの幸せな笑顔に立ち会ってきた「経験」と、長い歳月を経て築くことができた「信頼」こそが私たちの財産です。善意から始まった創業の原点を忘れることなく、私たちはこれまでと変わらぬ誇りと心からの祝福を持って、おふたりの最高のウェディングをお手伝いします。



株主メモ

決算期	毎年3月31日(年1回)
定時株主総会	毎年6月中
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 TEL(06)6229-3011
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行のフリーダイヤル
およびインターネットでも24時間承っております。

受付フリーダイヤル 0120-24-4479 (本店証券代行部)

0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

本社 〒600-8540 京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地

TEL(075)352-4111(代) FAX(075)352-4139

<http://www.watabe-wedding.co.jp>